

企画書審査基準

企画書は、次に掲げる事項により審査・提案する。
また、選定された企画書の提出者を、契約の相手方とする。

1 選定に関する基本的な考え方

信玄公生誕500年記念キックオフイベント企画実施等業務委託は、その功績を次世代に引き継ぐ契機とするとともに、これをフックに、県内観光に注目を集める機会として、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の感染拡大により大きな影響を受けている県内観光業等の反転攻勢を図り、全県挙げて盛り上げていけるよう、その記念すべき年の始まりにふさわしいキックオフイベントの企画立案、実施等を行うものである。また、信玄公生誕500年記念映像コンテンツ制作等業務は、キックオフイベント等における効果的な情報発信を図るためのツールとして、武田信玄公の人物像や功績等を魅力的に伝える映像コンテンツを制作するものである。一体的かつ効果的に「信玄公生誕500年」の発信を図るため、これら業務をまとめて発注するものである。
以上を踏まえ、次の項目視点について審査する。

(1) 企画能力

- ・信玄公生誕500年記念事業の趣旨や目的を踏まえ、通常の集客を目的としたAパターンにおいて、キックオフイベントを効果的に周知するための工夫がなされた企画内容となっているか。
- ・信玄公生誕500年記念事業の趣旨や目的を踏まえ、新型コロナの感染拡大防止に最大限配慮したBパターンについて、具体的な感染防止対策を示しながら、キックオフイベントを効果的に周知するための工夫がなされた企画内容となっているか。
- ・「信玄公生誕500年」を印象づけ、信玄公生誕500年（2021年）にふさわしい効果的な演出方法が示されているか。
- ・映像コンテンツは、信玄公の生涯や人物像、功績のほか、武田家ゆかりの史跡やお祭り等について、よりわかりやすく、魅力が十分に伝わるような提案となっているか。
- ・映像コンテンツは、利用目的に沿った構成内容が具体的に提案されているか。 等

(2) 広報

- ・キックオフイベントや映像コンテンツを効果的に情報発信するPR手法が具体的に提案されているか。 等

(3) 創意工夫

- ・業務全体を通して創意工夫がなされているか、また、独創性はあるか。 等

(4) 実施・運営体制及びスケジュール

- ・本業務全体を通じた実施・運営体制は適切であるか。
- ・本業務の実施にあたり、具体的なスケジュールが示されているか。また、スケジュールは適切なものか。

(5) 提案価格

- ・業務内容に見合った適切な経費であるか。

2 選定方法

- (1) 各審査委員が、企画提案ごとに、1の各項目について1点から5点までの5段階評価を付す。
- (2) 各審査委員による審査の合計点が最も高い企画書を採用する。
- (3) 合計点の最も高い企画書が複数ある場合には、そのうちから審査委員長が選定する。